

令和7年度 第1回いずみおおつ健康食育計画推進委員会 議事録

日時：令和7年7月7日（月）午後2時30分～4時

場所：泉大津市立保健センター 3階 集団指導室

開会

- ・事務局より、会議成立の報告（17名全員出席）
- ・健康こども部長あいさつ
- ・事務局より、資料の確認
- ・委員自己紹介
- ・傍聴希望者3名の入室について委員長了承

1. 第4次いずみおおつ健康食育計画の概要と進捗管理・評価について

2. 令和7年度 健康づくりの主要な取り組みについて

- ・事務局より、資料1「第4次いずみおおつ健康食育計画～泉大津市の現状と課題～」、資料2「第4次いずみおおつ健康食育計画進捗管理評価シート」、資料3「令和7年度 健康づくりの主要な取り組み」について説明。

（質疑応答）

委員：資料1 心疾患の割合が全国 14.8%、泉大津市 21.5%と説明があったが、この差は大きいと思う。今すぐにわからないと思うが、これは泉大津市に限ったことなのか、泉州一帯が高いのか、大阪府が高いのかという資料があるといいと思う。食を生業とする私としては、日本料理が専門ですが、郷土料理や伝統料理の塩分の問題があります。伝統は守らないといけませんが、時代に合った味付けをしないと健康を損なうのではないかという話が出てきています。郷土料理は、家庭で作られることはあまりないが、家庭で作る食事の味付けにつながると思うので、詳しい情報をいただくと、食の世界からできることがあると思いました。

事務局：標準化死亡比をみると、心疾患は、男性女性ともに、全国・大阪府に比べて泉大津市の方が高くなっています。泉州一帯の状況については把握できていないので調べておきます。

委員長：泉大津市は大阪府の中でも高いということが報告されましたが、そういったことを踏まえて、令和7年度に力を入れている取り組みがあれば教えてください。

事務局：若い世代からの食育ということで、小学校の5年生から中学校2年生までを対象にはじめてクッキングを実施します。野菜を中心に天然だしをとった食事を学んでいただきます。その中でベジチェックの測定や塩分の話もしていきたいと思います。簡単に食べられるファストフードや、コンビニで売っている食事は塩分が高いものもありますので、表示の見方や、自分の体にどのような栄養素や塩分が必要なのかということを知っていただいたうえで、調理にも取り組み、実践できるよう力をつけていきたいと考えております。

委員長：色々な媒体を利用しながら塩分のことを入れたり、直接塩分のことではないけど「ベジチェックで野菜をしっかりと摂りましょう」など、関連づけて実施されているということですね。塩分ことは、健康日本21にもあがっていると思いますので、しっかりいつも意識しな

がら、直接心疾患に影響するかどうかわかりませんが、少しずつ進めていくということになると思います。

副委員長：資料2の主要な取り組みに担当課の記載があるが、担当課同士の連携はあるのですか。

実績は、それぞれの課が記載するのですか。

事務局：それぞれの課から報告をいただいて、健康づくり課でまとめて記載します。ただ、同じ食育の取り組みでも、幼稚園やこども園や保育所での栽培活動があったり、また市で行っているイベントでも栽培活動があったりと、かぶっているところもありますので、そういったところは健康づくり課で取りまとめをします。

副委員長：血糖スパイク検査とはどのようなものですか。

事務局：血糖スパイク検査は、業者に委託して実施する事業で、セミナーの当日までに、参加者から尿検査を委託業者に提出いただいて、セミナー当日に講義の中で検査結果の説明をする予定です。尿検査は食後2時間後の検体を提出していただき、尿内のミオイノシトール値を測定します。結果は要注意、要観察、健康の3段階になります。

委員長：参加者の募集はどのようにするのですか。

事務局：参加者の募集は、市の広報誌で国民健康保険に加入の40歳から74歳の方にアナウンスしますが、それだけで参加者が、定員まで達しない場合は、前年度の特定健診の結果からヘモグロビンA1cが要観察域の方にご案内を発送予定です。

委員長：未病予防健診について説明してください。他市とは違う取り組みだと思うのでいかがでしょうか。

事務局：泉大津市独自の健診で、今年度から開始します。検査は2種類用意しており、1つがエクオール検査、もう1つが、腸内環境検査になります。どちらも従来のがん検診や特定健診に上乗せする形で実施します。エクオール検査は5月から始めており、腸内環境検査は11月から開始をする予定です。対象者は青壮年期で、エクオール検査は、25歳、35歳、45歳、55歳の女性の方、腸内環境検査は、20歳、30歳、40歳、50歳、60歳の男女を対象にしたいと思っております。いずれも定員は300人を予定しております。検査の内容ですが、エクオール検査はエクオールという物質を体内で産生できるか測る検査になります。産生できる方は、日本人の2人に1人で、産生する力がある方は、骨粗鬆症になりにくかったり、女性特有の更年期症状が抑えられるという特徴があります。

委員長：がん検診などに上乗せするという事で、別枠で募集するってわけではなく、その中でということで、他市にはない予防健診だと思います。この結果や成果はまたどこかで報告を。

委員：先程の血糖スパイクの尿検査の件ですが、糖尿病の検査というと我々のところでは、空腹時に75g糖分量を摂っていただき、2時間後に血糖値を測定します。尿を用いた糖負荷試験をするということで、食事のあと血糖値が上がっている場合には尿に（ミオイノシトール）が出てくる検査だと思うのですが、あやしい数値が出た場合には医療機関に受診を促していただけるという話ですね。

事務局：はい。（同意）

委員長：これも泉大津市独自の新しい検査でしょうか。中にいるとあたりまえのように見えるかもしれませんが、新しい取り組みの一つであると思います。

委員長：クリアファイルはどこで、どのように配布されますか。

事務局：乳幼児期はこんにちは赤ちゃん訪問の訪問時に、学童思春期は、昨年度、計画策定のアンケートにご協力いただいた小中学生に配布します。青壮年期は、健康づくりの事業の参加者や検診受診者に配布します。高齢期は、高齢介護課から介護予防事業参加者に配布します。他課や関係機関の協力を得ながら、周知を進めていきたいと思っております。

委員長：方法としては、とてもいい内容だと思うので、子育て応援課からという話もありましたが、市役所の他の課からも配布できるようにすると市民に行きわたるのではないかと思います。

事務局：作成したファイル数に限りはあるが、検討してきたいと思えます。

委員長：やったことがどれぐらい住民に届いているかは、とても大事な問題だと思います。事業をやったら、それが動いて健康づくりに役立ってるってところを見ていくためには、どういう周知があるとか、情報提供があるかっていうのも、今日は色々な課の方がいらしてますので、将来的に取り組んでいただけるとすごく、いい取り組みになるのではないかと考えております。

委員長：他に質問はありませんか。では、各団体から今年度の新たな取り組みの報告をお願いします。薬剤師会をお願いします。

委員：薬剤師会の今年度の取り組みですが、資料3にありました健康ラボの薬剤師から学ぶ「未病予防セミナー」を4月に行いました。シープラのオープンスペースで定期的にセミナーを行っています。熱中症予防セミナーを8月26日に、フレイルセミナーを9月24日に行います。それから、大阪府学校保健安全研修会に参加した際、大阪母子医療センターの位田忍先生からセミナーのご案内がありました。無料ですので申し込めば、少しずつ色々なことを勉強できると思います。

委員長：たくさんの資料ありがとうございました。歯科医師会をお願いします。

委員：歯科医師会は、ずっとやってきていることを、具体的に進めていくという状態なのですが、健康状態の見える化ということで、一昨年から成人歯科健診が20、25、30、35歳が追加されて、幅広くなってきて、高校を卒業してから歯科健診を受けられなかった方々も含めて受診いただけるような状態になりました。乳幼児健診で1歳半、3歳半っていうのは、法定健診であるんですが、それ以外に、2歳、2歳半、3歳の健診もしています。あと、厚生労働省から、5歳児健診、歯科健診を進めていったらどうかという話もありますので、おそらく数年内に5歳児健診も行うと思います。また、健康づくりにおきましては、口腔機能の維持が非常に大事で、高齢者においても、健康維持には口腔機能を維持することが非常に大事になります。食事をしっかり口から摂れるよう、オーラルフレイルを予防することがとても大事ということで注力しております。それから、高齢介護課協力のもと、FMいずみおおつで高齢者・成人向けのラジオ番組にも協力させていただいております。ぜひ一度聞いていただけたらと思います。

委員長：ラジオ番組というのはどのようなものでしょうか。

事務局：先生からご紹介いただいたラジオ番組ですが、FMいずみおおつで番組を持たせていただいて、本市の歯科衛生士がゲストの方と口腔ケアについてお話をする番組です。毎月第3水曜日の午前10時から11時の1時間でさせていただいてます。毎月、内容を変え、

担当職員が皆さんに楽しく聞いてもらえるように工夫しておりますので、お時間ありましたら、ぜひ、聞いていただければと思います。

委員長：次に食生活改善推進協議会からお願いします。

委員：泉大津市食生活改善推進協議会では、毎年の行事で、シニアカフェと簡単レシピと調理実習をずっと続けています。そして、1歳6か月健診の時にティーサロンのお手伝いをしています。子どもさんが来てお菓子やお茶を提供すると、泣いてても泣き止んでご機嫌で帰られるということも見受けられます。簡単レシピの紹介もしていて、持ち帰ってくれるのでありがたいです。それと食の情報発信では、食改コーナーを保健センターのロビーに飾っていただいていた、簡単に作れるレシピとして「大阪のおばちゃんメニュー」を掲示しておりますので、よかったら見てください。そして、今年は福祉センターまつりで展示をします。10月19日を予定しております。今年度からボランティア養成講座が、春から秋の開催になりました。10月6日には健康測定のお手伝いを予定しており、最終日の令和8年1月26日は食改の紹介をさせていただきます。大阪府食生活改善連絡協議会南ブロック支部としての関連事業として、12月にシニアカフェを開催します。これは広報でお知らせして申し込みを受け付けています。

委員長：エレベーターのところに展示してありますね。活動が活発になっているように思います。商工会議所の方からお願いします。

委員：商工会議所では、毎年会員事業者様を対象に、定期健康診断を開催しており、今年度は6月18日に実施しました。受診者数は、従業員人数が減ってるということもありまして、昨年度よりは少し減少はしていますが、新しく受診していただいた事業者さんが増えているということで、関心は強まってきていると思っております。それから、今回で2回目になりますがお出かけ保健室に来ていただくことができました。血管硬化度、血管年齢、ベジチェックを実施させていただき、昨年受けていただいた方も、今回はどうか大変楽しみにしていただいている方もいらっしゃいました。ただ今回は、動線が少し悪かったので、受けていただいた方の人数が少なくなってしまったんですけども、今後は動線を検討しながら実施させていただきたいと思います。

委員長：働いている方への健診、とても大事だと思います。そこにおでかけ保健室で血管硬化度やベジチェックとか他市では取り組めていないことも取り入れていただいているということで、市と連携しながらされているということがわかりました。栄養ケアチームの方からもお願いします。

委員：栄養ケアチームの活動で一つ大きく変わったのは、昨年途中から訪問栄養指導を行ってまして、病院の先生と患者さんとの契約になりますが、退院されてからの食事について指導しています。今年度の新しい事業として、女性の健康づくりの推進ということで、泉大津市立保健センターで来週の日曜日に実施する女性セミナーで、講話と少し試食もさせていただきます。今年度は3回実施させていただきます。それから、学びの場の充実ということで、ワークショップを5回、5月に1回目をさせていただき、次は7月です。テーマは熱中症と食育ということで、簡単に自分で作れる経口補水液のお話をさせていただきます。この2つの事業を重点にさせていただきます。

委員長：とても精力的な活動をされていると思います。今日は男性の方がたくさんおられるので、なぜ女性の健康かと思われていると思いますが、現状のところ、女性は男性の約2倍不健康な期間が長いとあり、そこからも女性の健康づくりに取り組まれていると思いますので、今日の資料と結び付けていただけたらと思います。他に報告があればお願いします。今日、ご報告いただいたことについては、具体的にされたことを次の委員会でお聞きできればと思います。

3. その他

- ・事務局より、第2回委員会（2月頃開催予定）についてお知らせ

閉会